

いちご「とちあいか」の紫外線 UV-B 照射によるうどんこ病防除技術の確立

要約

紫外線 UV-B を「とちあいか」に照射した結果、うどんこ病の発生状況は、1月19日調査時で対照区の発病果率が2.7%であったが、供試区での発生は見られなかった。3月22日調査時では対照区の発病果率は15.6%であったが、供試区は0.6%で高い防除効果が得られた。

○ 展示のねらい

いちご「とちあいか」における紫外線 UV-B のうどんこ病に対する防除効果を検討し、環境負荷低減及び省力化に資する技術を組み合わせた栽培体系を確立する。

1) 試験区概要

供試区：紫外線 UV-B 照射有り (10～5月)

対照区：紫外線 UV-B 照射無し

※1 照射時間：毎夜3時間点灯し、日の出3～4時間前までに照射を終了する。

※2 照度 0.12W/m²になるよう UV-B ランプを設置。

2) 栽培(飼養)概要

(1) ハウス構造 ハウス構造 東西単棟ハウス (5m×47m)

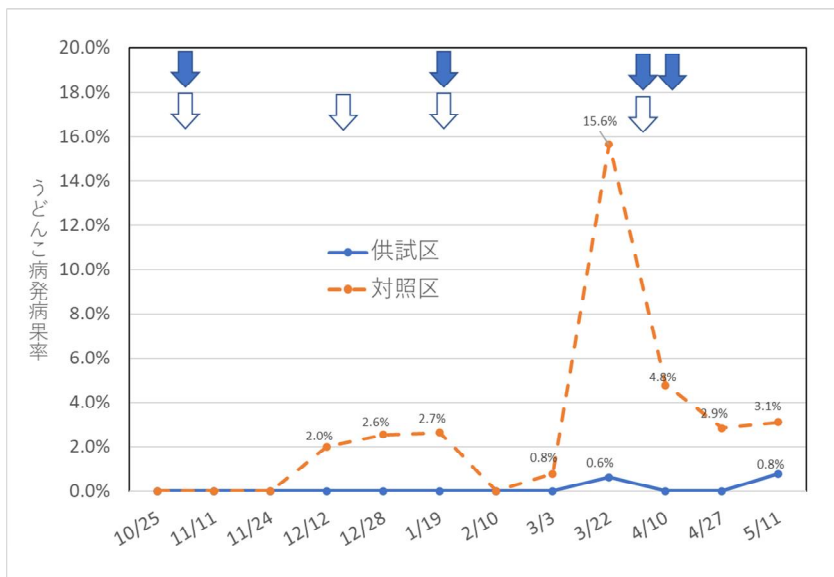
(2) 定植 供試区：9月19日、対照区：9月18日 (株間23cm、平ベッド)

(3) UV-B 照射 10月25日～ 23:00～2:00、日の出まで4時間暗黒

2月21日～ 22:00～1:00、日の出まで4時間暗黒

○ 主な成果

果実のうどんこ病の発生状況は、UV-B 照射後から11月下旬まで両区とも発生は見られなかったが、12月12日調査時から対照区で発生し、1月19日調査時には2.7%の発病果率であったが、供試区では発生は見られなかった。また、3月3日調査時から対照区で0.8%うどんこ病の発生が見られ、3月22日調査時には15.6%の発病果率であったが、供試区は0.6%であった。



た。

※調査方法：ほ場内30株を選定、総果実数(未熟果実も含む)のうち発病果率を算出した

※ ↓ 供試区薬剤防除
↓ 対照区薬剤防

図1 うどんこ病の発生状況(果実)

○ 今後の方向性

農薬散布の労務費や導入コストを考慮し、技術普及する必要がある。

実施機関：安足農業振興事務所経営普及部 実施場所：佐野市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315